

お金の心配がない 「保険で良い歯科医療」の実現をめざして

～ 署名にご協力を ～

口の中を清潔にたもつ口腔ケアが高齢者の死亡原因の一つである誤嚥性肺炎を予防したり、よく噛んで食べることが認知症の予防や日常生活の向上につながると言われています。また、糖尿病によって歯周病にかかりやすくなったり、その歯周病で糖尿病もまた悪い影響を受けるなど、歯の健康と全身の健康が深く関わっていることがわかってきています。

いつでもどこでも誰でも、お金の心配がない「保険で良い歯科医療」が受けられるよう、署名にご協力をお願いします。



署名用紙は、ホームページからもダウンロードができます。



お金の心配をせず、 保険で良い 歯科治療を

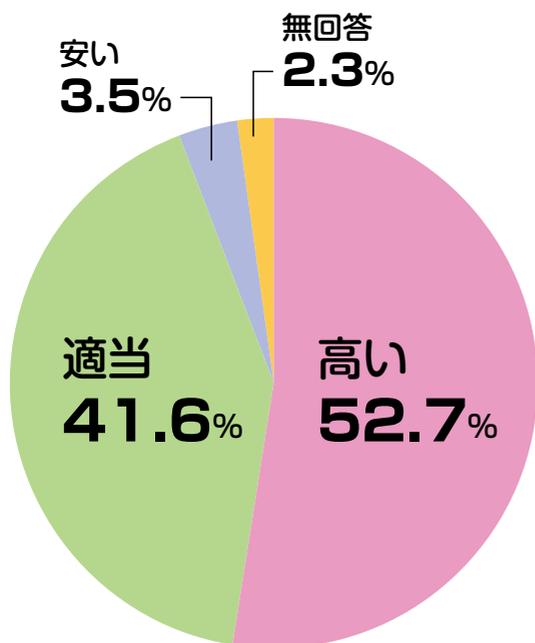
— 保険のきく範囲を広げてほしい —

医師・歯科医師10万3千人の団体——全国保険医団体連合会が実施した「歯科医療に関する市民アンケート」に全国1万人以上から歯科治療に対する切実な声が寄せられました。

窓口負担が高い

アンケート結果では、窓口負担が高いと答える人が5割を超え、とくに10代から60代では、6割近くにのぼります。早期発見、早期治療で、重症化し、歯を喪失する前に治療が行えるよう、窓口負担の軽減が必要です。

歯科の保険の
窓口負担は



窓口負担がさらに増える案も

政府は、医療制度改革案として、外来患者の窓口負担（3割負担の人も、1割負担の人も）に加えて、100円程度を上乗せする「受診時定額負担」案を示しました。毎回の窓口負担に加えて「定額負担

を上乗せすることは、複数の病気を抱える高齢者、乳幼児、慢性疾患の患者さんなど、受診する回数が多い人ほど、窓口負担が重くなり、受診が制限され、病状の悪化を招くことになりかねません。

保険のきく範囲を広げて欲しい

国民生活や雇用状態の深刻さなどの影響が歯科受診にも及んでいることが明らかです。また、風邪など医科の治療はほとんどが保険がきくのに、歯科では保険のきかない治療が多くあることも影響しています。

私たち歯科医師は患者さんがお金の心配をせずに歯科受診でき、早期発見、早期治療ができるよう保険治療の充実を願っています。

ともに力を合わせて、保険で良い歯科医療の実現のために運動をすすめましょう。



保険のきく範囲を
広げて欲しい

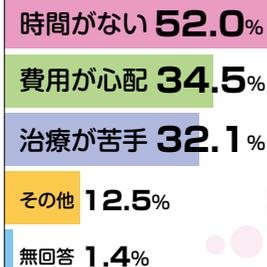
91.6%

今のままでよい

7.9%

歯の治療には
保険のきかない
治療がありますが
どう思いますか

「時間がない」「費用が心配」4割が「治療を放置」



治療をしない
理由



アンケートでは、「歯は健康にとって大切」と考えている人が全体の9割以上いる一方、「治療を放置している」人が4割近くに達しています。その主な理由は「時間がない」「費用が心配」などです。